

「協働のまちづくり」人材育成

4/27

12年目を迎え、専門講座を「ふるさとの匠クラブ」に

町まちづくり観光協会主催の「千年の学校」第12期開講式が山村開発センターにて行われました。

学長の佐藤町長が受講生を激励すると、今期入学生代表の根岸英一さん(徳山)が「地域資源や歴史文化を学び体験することで、魅力と活力あるまちづくりにつなげていきたい」と受講に向けての決意を力強く述べました。

今期は49人が歴史や絵手紙などの全7講座を受講するほか、受講生自らが講座を企画・実施する「ふるさとの匠クラブ」を開催する予定です。



激励の言葉を掛ける学長の佐藤町長

5/4

盛り上がった野外コンサート

音楽で観光客をおもてなし「第2回カワネ・ミュージックリンク」



川高生のブラスバンドも初参加、会場を盛り上げた

音戯の郷屋外広場で、音楽でまちを盛り上げようと野外コンサート「カワネ・ミュージックリンク」(主催 こんばんわ会)が開催されました。

出演したのは▷櫻下直也(徳山)▷川根高校吹奏楽部▷赤塚ZUN(浜松市)▷中電バンド(千頭)の4組。大型連休で、同施設を訪れた約200人の観光客が足を止めて演奏を楽しみました。

協賛した町内有志で組織するカワネ・サウンドバッグの櫻下代表は「将来は町内外問わずたくさんの方が主体的に参加する本町の名物イベントにしていきたい」と笑顔で話しました。

手作りの青空市場でまちを元気に

4/28

多くの町民や観光客で賑わった「SUN SUNマーケット」

川根女子部・茶茗館プロジェクトチーム主催の青空市場「SUN SUNマーケット」が茶茗館にて開催されました。

4回目となるこのイベントは、手作りの青空市場でまちを元気にしたいとの思いから企画されており、当日はお茶を使った料理の販売や金魚すくい、各種体験などが行われ、同施設を訪れた約400人の町民や観光客が楽しみました。

今後は偶数月の第4日曜日に定期開催していきたいとのことで、次回は6月23日(日)に実施する予定です。



熱心に魚をすくい上げようと頑張る子どもの姿も見られた

文化活動を通して元気はつらつ

4/14

好評の「地域派遣事業」で地域に元気と笑顔を届ける

町文化協会の今年度通常総会が文化会館にて開催され、会員150人が参加しました。

千澤勝会長は「会員が各地区催事で演芸披露する出前事業が定着し、好評をいただいている。地域の皆さんに喜んでもらえるよう引き続き頑張っていきましょう」とあいさつしました。

通常総会終了後には会員による春の演芸発表会が行われ、8演目のコーラスや舞踊など日ごろの練習の成果を披露しました。

今年度の協会加入グループは36、会員数は590人となっています。



「地域の皆さんに喜んでもらえるように」と話す千澤会長

5/9

茶農家から学ぶ「心意気」

茶業に対する熱意を学び、今後の人生に生かす目的で企画

筑波大学附属中学校(東京都)の生徒41人が修学旅行のプログラムの一つとして、町内6カ所の茶農家を訪問しました。

生徒たちは9つのグループに分かれて茶農家を訪問し、茶工場で製茶の作業工程について説明を受け、熱心にメモを取っていました。

また、積極的に質問をしながら、茶農家の「心意気」への理解を深めている様子でした。

その後、実際に茶摘みを体験すると「思っていたより葉や新芽が柔らかくてびっくりした」と笑顔を見せていました。



「お茶のパバロア」を食べ、茶スイーツも楽しんだ

白熱の試合展開に大盛り上がり

4/21

「三ツ星杯」フットサル大会が行われ参加者ら汗を流す

町健康増進施設にて「三ツ星杯」フットサル(5人制のミニサッカー)大会が行われ、町内の若者を中心に約30人が参加しました。

この大会は「かわねライフスポーツクラブ」が企画し、町民が共に汗を流し親睦を深めることを目的として開催しました。

参加者は5チームに分かれ、総当たり戦で試合に臨み、各チームとも協力して勝利を目指しました。好プレーには大きな歓声上がるなど、会場は終始はつらつとした雰囲気にも包まれました。



小学生から大人まで混合で楽しんだ